

⑫大皿～ジャグリングとめけん

- 【持ち方】 とめけんの持ち方もしくはとめけんの持ち方に準じる持ち方
持ち替え後の持ち方 1：玉の持ち方は問わない
2：とめけんの持ち方に準じる持ち方

【技の動作】

けんを持ち、玉を下につり下げて構える。けんを動かして玉を引き上げて大皿に乗せる（大皿）。次いで、玉を投げ上げてけんを投げ上げ、玉をつかみすぐに玉を投げ上げてけんをつかみ、玉の穴にけん先を入れる（～ジャグリングとめけん）。

【注意事項】

- ・ つり下げた玉の引き上げ方は、鉛直上方に引き上げても前振りでもうら振りでも可とする。
- ・ つり下げた玉を大皿に乗せる動作をするために、膝を曲げ伸ばす動きや、体でリズムをとるなどの予備動作を行った時点で技が開始されたと見なす。
- ・ 投げ上げた玉をつかみすぐに玉を投げ上げる時、必ずしも玉をつかむ必要はない。手の平や指先で玉をバウンドさせてもよい。
- ・ 投げ上げたけんの回転の有無、回数および方向は問わない。
- ・ 投げ上げた玉の回転の有無、回数および方向は問わない。
- ・ 玉の穴へのけん先の入れかたは、すくい玉にならないこと。玉の穴が水平より下向きの状態でけん先を入れること。
- ・ 玉の穴にけん先が完全に入ること。
- ・ 技は片手で行うこと（とめけんの持ち方もしくはとめけんの持ち方に準じる持ち方をした手で玉をつかみ、とめけんの持ち方に準ずる持ち方に持ち替えること）。
- ・ 技を開始した後に、再び手で玉を押さえるなど、あきらかに技の一連の流れを止める動作を行った場合は、動作を中断しやり直したと見なす
- ・ 「大皿」完了後に、膝をまげる、手を上下させる等の玉を空中に投げ上げるための予備動作を開始した後に、一度静止させて再度やり直したなど、あきらかに技の一連の流れを止める動作を行った場合は、動作を中断しやり直したと見なす。
- ・ けんをつかんだ時、皿胴をつかんではいならない。
- ・ 連続技における修正行為の禁止事項を守ること。